

環境だより



安全安心課 ☎66・1156

昨年12月末、元町地内(蒲郡信用金庫本店東南交差点)に設置してある赤と黄色の一点灯減式の信号機が、替わりました。新しい信号機は、太陽光により発電する新しいタイプのもの、ソーラーシステムによる一点灯減式信号機の設置は、全国で初めてです。この信号機は、小さな電力で対応できるよう発光源を今までの電球から発光ダイオード(LED)に替えました。LEDは電球と比べ明るく、色も鮮やかで遠くからでもはっきりと見えます。ソーラーパネルを使用して太陽光をエネルギー源とすることによって、省エネを図る

全国初のソーラー信号機



ことができます。また、震災など災害発生時の停電時にも電源が確保できるといった利点があります。

消防最前線

Journal of Fire Department 119

URL <http://www.city.gamagori.aichi.jp/syoubou/index.html>

皆さんは救急車を要請したときに消防車が来てしまったらどう思いますか？

「どうして・・・」と驚く人が多いかと思えます。

また、消防車がサイレンを「ウー、ウー」と鳴らしてやって来るので「大げさになって嫌だ。」と感じる人もいるのではないのでしょうか。

このように救急現場に救急車と消防車がペアで出動するPAと呼ばれるシステムは、蒲郡市を含め全国各地の消防本部で実施されているのです。では、こういった場合にPA出動するのでしょうか。例えば、救急の発生場所が高層階で傷病者の搬送が困難な場合、交通事故など二次災害の

危険性がある場合、また、傷病者が搬出困難な状況におかれている場合など、救急隊員(3名)だけでは迅速かつ安全に救急活動が行えないという場合に消防隊が同時出動し、救急隊の活動をバックアップするのです。

そして、よりスムーズに救急活動を行い、より早く傷病者を病院に搬送することによって、救命率が少しでも向上することを目指しているのです。

だからこそ、市民の皆さんにもPA出動を理解していただき、救急車を要請したときに消防車がくることもあることを覚えておいてほしいのです。

「騒ぎは一時、命は一生」



PA出動

ポンプ車(Pumper)と救急車(Ambulance)の頭文字をとって「PA出動」と呼びます。